

狭山の生態系シリーズ③⑥



撮影：県生態系保護協会狭山支部 高橋昇さん(中新田)

スズメ(ハタオリドリ科)

体長約14cm。人間生活との結びつきがわめて強い鳥で、家の屋根や壁のすき間に枯れ草やビニールひもなどで球形の巣を作ります。繁殖期には昆虫類をつかまえますが、季節が進むにつれ植物質が中心になり、水田でイネの未熟な実をついばみ被害を与えることもあります。 普段はチュンチュン、チョンチョンと鳴きますが、けんかの時にはジュジュッと鋭く鳴きます。

限りあるスペースの有効利用をめざして

エネルギー 狭山の企業③⑥



東西工業株式会社の名称で昭和48年10月に狭山に拠点を移し、現在は大阪に本社を移転して名称をサンキン株式会社に変更し、2つの工場を稼働させています。エクステリア事業部柏原工場では、主にスチール製組み立て物置を加工製造し、立駐事業部森の上工場では、主に立体駐車場を加工製造し



保できるとは限りませんし、マンションなど世帯数分の駐車スペースを確保することも簡単ではありません。自動車も一家に一台という時代ではなく、ますます車をいかに有効に利用できるかを追求し、時代のニーズに応えるべく新商品の開発に励んでいます。

「Hello! 仲間たち VOL.198」 水野公民館での「弦楽器の合奏教室」の終了後に発足し7年たつアマチュア合奏団です。現在は弦楽器約20名と必要に応じて管楽器を入れて、毎年3月に市民会館で開催するスプリングコンサートを目標に火曜日の夜に水野公民館や富士見公民館で練習しています。メンバーも学生から社会人、主婦、高齢者まで幅広く、アットホームな雰囲気で大好きな合奏を楽しんでいます。それぞれのパートの練習の積み重ねが大切なのはもちろ

狭山室内アンサンブル



ろんのこと、みんなで呼吸を合わせ演奏する時の充実感は何物にも変えられないものがあります。興味のあるかたは一度遊びに来てみませんか。



合唱団と一緒に市内の夢を将来の第九を公演するのを増やして団員をもっと

問い合わせ赤木 仁さんへ ☎59-7183



フィルムケース利用の簡易「電池テスター」

おもちゃの修理の場でも電池が原因のトラブルが第一位であることから、家庭にたくさんある電池の弱りかたを見る簡単なテスターを考えました。豆球の光りかたと明るさで電池の強さを判別でき、単1型から単5型までの1.5ボルトの電池が測れます。材料は透明のフィルムケース、1.5ボルト豆球とソケット、牛乳パックの切れ端、配線、ビスナット



製作オモチャドクター・松尾達也さん

一組です。小学生でも作れるので、夏休み工作教室などの催しでも作りやすく、使いかたも簡単で、電池をこのテスターで挟み、豆球の光りかたを見るだけです。電池の十、一の向きも考える必要がありません。また、故障なく長い間使えます。ただし、小さな電池は長時間光らせるだけで弱ってしまうので素早くはずしてください。

有効資源と見做す故障に役立ちます

イベント

- 生活クラブ狭山センター10周年記念バザー
●晴着の着付け無料講習会
●第48回歴史講座
●狭山少年少女合唱団第3回定期演奏会
●狭山市植物友の会日曜観察会
●ボランテアカメラマン募集
●日曜絵画
●ヨガサークルコスモス
●俳句の会・翠檜
●すみれカラオケ同好会
●中高年のストレッチ体操

会員募集

- 新舞踊愛好会(日本舞踊)
●歌舞伎舞踊(坂東流新舞踊教室)
●卓球スマッシュ
●新狭山卓球クラブ
●新狭山公民館で活動
●川畑藤子さんへ
●中高年のストレッチ体操